

1 国民健康保険税の税率等見直しの趣旨

令和6年度に策定した多摩市国民健康保険運営方針を踏まえ、以下の考え方で保険税率の見直しを行うものである。

- 令和18年度までの赤字繰入の解消を目指すため、保険税率設定の見直しにより毎年1億円程度の赤字解消・削減に取り組む
- 令和8年度の改定に当たっては、社会経済状況を踏まえつつ、国保事業費納付金とこれに基づく標準保険料率を参考に改定する
- 課税限度額及び軽減判定額については、法定額と同額とする
- 子ども・子育て支援金分の令和8年度標準保険料率は、所得割率が0.27%、均等割額が1,719円、18歳以上均等割額が113円であるが、この率・額と同額とする。

2 国民健康保険税の税率等の推移

■ 税率

種別	令和元年度	2・3年度	4・5年度	6年度	7年度
所得割	8.50%	8.84%	9.03%	9.38%	9.94%
均等割	48,700円	50,600円	51,600円	53,500円	55,200円

■ 課税限度額

医療・後期・介護	令和元年度	2・3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
合算	96万円	99万円	102万円	104万円	106万円	109万円

※令和8年度の法定額は、113万円の見込み（医療67万円・後期26万円・介護17万円、子ども3万円）

■ 世帯所得による軽減判定額

区分	令和元年度	2年度	3・4年度	5年度	6年度	7年度
7割	33万円			43万円+（給与・年金所得がある加入者数-1）×10万円		
5割	7割の額+加入者数×28万円	7割の額+加入者数×28.5万円	7割の額+加入者数×28.5万円	7割の額+加入者数×29万円	7割の額+加入者数×29.5万円	7割の額+加入者数×30.5万円
2割	7割の額+加入者数×51万円	7割の額+加入者数×52万円	7割の額+加入者数×52万円	7割の額+加入者数×53.5万円	7割の額+加入者数×54.5万円	7割の額+加入者数×56万円

※令和8年度の法定額は、5割が「7割の額+加入者数×31万円」、2割が「同…×57万円」の見込み

3 赤字繰入額の推移

単位:千円					
令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
794,270	606,756	765,969	963,133	1,413,143	1,207,506

4 令和6年度決算における保険税収入と赤字繰入額と割合

国保特別会計 歳入計	うち 赤字繰入額	赤字繰入 割合	年度平均 被保険者数	1人当たり 赤字繰入額
14,743,002千円	1,207,506千円	8.19%	27,654人	43,665円
	うち 保険税収入額	保険税収入 割合		1人当たり 平均賦課額
	2,688,909千円	18.24%		97,234円

5 改定率と税率、標準保険料率

所得割	令和7年度	令和8年度				
		+1%	+2%	+4%	+6%	標準保険料率 (仮算定)
9.94%	10.04% (+0.10)	10.14% (+0.20)	10.34% (+0.40)	10.54% (+0.60)	13.43% (+3.49)	
(子ども分含む)	10.31%	10.41%	10.61%	10.81%	13.70%	
均等割	55,200円 (+500)	55,700円 (+1,100)	56,300円 (+2,200)	57,400円 (+3,300)	58,500円 (+31,208)	86,408円
(子ども分含む)	57,532円	58,132円	59,232円	60,332円	88,240円	

※ 下段カッコ内は、現行税率との差

※ 「子ども分含む」は、子ども・子育て支援金分の標準保険料率（所得割：0.27%、均等割1,719円、18歳以上均等割113円）を加算した額

※ 医療分・後期高齢者支援金等分・介護分の内訳は次ページ【参考1】のとおり

6 モデル世帯による保険税試算額

令和7年度	令和8年度試算(子ども分含む、下段は現行税率との差)				
	+1%	+2%	+4%	+6%	標準保険料率 (仮算定)
夫婦2人 子2人 451,500円	467,900円 (+16,400)	472,400円 (+20,900)	481,700円 (+30,200)	490,500円 (+39,000)	653,200円 (+201,700)
夫婦 80,900円	84,700円 (+3,800)	85,500円 (+4,600)	87,200円 (+6,300)	88,700円 (+7,800)	121,000円 (+40,100)
単身 22,900円	23,900円 (+1,000)	24,200円 (+1,300)	24,600円 (+1,700)	25,100円 (+2,200)	36,500円 (+13,600)

※ モデル世帯の詳細は、次ページ【参考2】のとおり

※ 子ども・子育て支援金分は標準保険料率で計算

7 令和8年度赤字繰入見込額

令和7年度据置	+1%	+2%	+4%	+6%
保険税収入見込 2,629,364	2,653,480	2,675,572	2,718,462	2,761,752
法定外繰入見込 1,222,279	1,198,163 (△24,116)	1,176,071 (△46,208)	1,133,181 (△89,098)	1,089,891 (△132,388)

※ 下段カッコ内は、据置の場合との差

8 参考：所得による均等割軽減対象者の割合

■ 令和7年11月末現在の保険税賦課集計より、軽減対象者数

	保険税対象 全世帯数	軽減なしの世帯	7割軽減 対象世帯	5割軽減 対象世帯	2割軽減 対象世帯
全体	19, 123世帯	9, 921世帯 51. 9%	5, 622世帯 29. 4%	1, 825世帯 9. 5%	1, 755世帯 9. 2%
うち未就学児の いる世帯	330世帯	165世帯 50. 0%	87世帯 26. 4%	45世帯 13. 6%	33世帯 10. 0%

【参考1】標準保険料率、現行税率と令和7年度の想定税率の詳細

		令和7年度	令和8年度				
			+1%	+2%	+4%	+6%	標準保険料率 (仮算定)
所得割	医療分	6. 16%	6. 22% (+0. 06)	6. 28% (+0. 12)	6. 41% (+0. 25)	6. 53% (+0. 37)	7. 83% (+1. 61)
	後期分	2. 00%	2. 02% (+0. 02)	2. 04% (+0. 04)	2. 08% (+0. 06)	2. 12% (+0. 12)	2. 97% (+0. 97)
	介護分	1. 78%	1. 80% (+0. 72)	1. 82% (+0. 10)	1. 85% (+0. 10)	1. 89% (+0. 77)	2. 63% (0. 85)
	子ども分						0. 27%
	計	9. 94%	10. 04% (+0. 10)	10. 14% (+0. 20)	10. 34% (+0. 40)	10. 54% (+0. 60)	13. 43% (+3. 49)
均等割	医療分	30, 200円	30, 500円 (+300)	30, 800円 (+600)	31, 400円 (+1, 200)	32, 000円 (+1, 800)	48, 807円 (+18, 607)
	後期分	12, 400円	12, 500円 (+100)	12, 600円 (+200)	12, 900円 (+500)	13, 100円 (+700)	18, 388円 (+5, 988)
	介護分	12, 600円	12, 700円 (+100)	12, 900円 (+300)	13, 100円 (+500)	13, 400円 (+800)	19, 213円 (+6, 613)
	子ども分						均等割：1, 719円 18歳以上均等割：113円
	計	55, 200円	55, 700円 (+500)	56, 300円 (+1, 100)	57, 400円 (+2, 200)	58, 500円 (+3, 200)	86, 240円 (+31, 040)

※ 下段カッコ内は、現行税率との差

【参考2】モデルケースの世帯構成の詳細

- 夫婦2人子2人………世帯収入：給与500万円（世帯主・40歳以上）、子2人未就学児
介護分対象1人
- 夫婦……………世帯収入：年金200万円・80万円（夫婦とも65～74歳）
- 単身……………給与収入100万円、介護分対象者なし、世帯所得により5割軽減